

家電リサイクルの取り組み

家電製品には、鉄や銅など、再利用できる材料が沢山使われている。そこで2001年4月に始まったのが「家電リサイクル法」。捨てられた製品を資源として利用する動きが始まってから、9年が経つ。

〈指定引取場所における引取台数の推移〉

引取台数(千台)



回収した製品の
80%以上を資源
として取り出している。

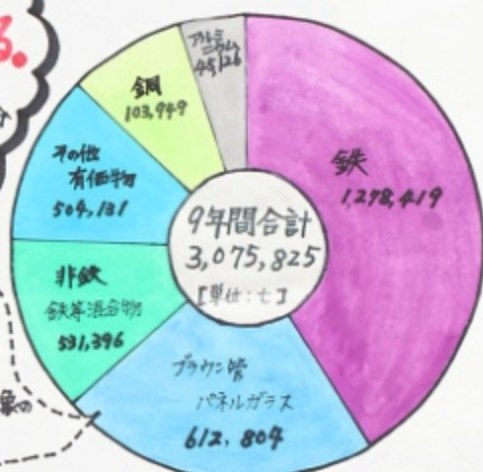
《例えは...》

- ・アルミニウム→コンデンサー、電子部品
- ・銅→コード類、電子部品
などが回収されている!!

再利用が難しいとされていたが
現在『ブラウン管パネルガラス入り
共通適用ブロック(ILB)』として
都市水害抑止やヒートアイランド現象の
軽減に役立っている。

〈家電品目別の素材別再商品化量〉

今後の課題



同じ素材のもので
組み立ててあると
分別が楽である。

これからは、
リサイクルのしやすさが
求められる!!

まとめ

中国の発展にともない、鉄や銅などの
価格が高騰している。
日本には、資源がないので、回収した製品
の8割が再商品化されていることが
分かり、これから、リサイクルに協力
していきたい。

出典(財)家電製品協会